

メトロポリタン史学会 第10回総会・大会

日時:2014年5月17日(土)

会場:首都大学東京 本部棟・大会議室

(京王相模原線南大沢駅下車 徒歩10分) 参加無料

【総会】午前10時30分～12時

【大会】午後1時40分～5時

シンポジウム「現生人類の北東アジアから日本への最初の進出

—DNA証拠、人類化石証拠、そして文化残滓証拠は

同じストーリーを語るのか?—」

〔報告〕午後1時40分～3時40分

出穂雅実氏(首都大学東京)

「最終氷期最盛期の北東アジアと古サハリン

—北海道・千島半島における狩猟採集民の技術的・行動的適応—」

海部陽介氏(国立科学博物館)

「東アジアの現生人類化石証拠とその系統」

安達 登氏(山梨大学)

「北海道の縄文時代人骨のミトコンドリア DNA 分析によって見えてきた

北東アジア旧石器時代人の系統」

〔全体討論〕午後3時45分～5時(司会 岩瀬 彬氏)

【懇親会】午後5時30分～7時30分

メトロポリタン史学会

〒192-0397 八王子市南大沢1-1 首都大学東京
都市教養学部 人文・社会系 国際文化コース
歴史・考古学分野内

TEL:042-677-2110(木村誠研究室)